

延辺朝鮮語における借用語について  
- 語彙の借用を中心に -

朴 美花  
(言語文化学部 日本語専攻)

キーワード：朝鮮語，延辺方言，借用語，語彙

0. はじめに

本稿は、延辺朝鮮語<sup>1</sup>における語彙を中心とした借用語<sup>2</sup>の実態について調査し分析することで、ジャンルごとに現れる借用語の使用傾向を明らかにすることを目的とする。なお、本文中の朝鮮語のローマ字転写はすべてイェール式<sup>3</sup>表記法に従っており、外国語文献の和訳、グロス、例文番号、図表番号、例文中の囲み線は、特に断りのない限り筆者によるものとする。

1. 先行研究

1.1. 宮下(2007)

宮下(2007)は、中国で使われている朝鮮語が中国語との言語接触によって受けた影響を言語学的な観点から調査記述し、分析したものである。

中国の成立から現在に至るまで中国朝鮮語は中国の政治方針に左右され続けてきたため、その他の様々な方言および中国語との接触という外的な影響を受けた。中国における朝鮮族にとって中国語との言語接触は単なる接触を意味するのではなく、中国語からの日常的な圧迫を意味する。

(宮下 2007: 35 要約)

宮下(2007: 110- 114)は、中国語からの語彙借用を、字音借用、翻訳借用、音借(直接借用)に分類している。以下、それぞれ説明をまとめる。

<sup>1</sup> 延辺朝鮮語は、中国国内で朝鮮族がもっとも集中して居住する吉林省延辺朝鮮族自治州内で使われている朝鮮語のことをいい、中国朝鮮語の一方言である。宮下(2007: 13)は、中国で話されている朝鮮語は主に、平安道方言、咸鏡道方言、慶尚道方言の3つであるが、中でも咸鏡道方言が一番多く話されている。延辺地域で話されている朝鮮語は咸鏡道方言に近いと述べている。

<sup>2</sup> 新村(編)(2008: 1299)の「借用語」の定義は、「ある言語体系から別の言語体系へ取り入れられ、日常的に使われる外国語、古語、方言など。外来語と同義にも用いる。」となっている。高麗大学民族文化研究院国語辞典編集室(編)(2009: 6002)によると、「借用語」は、「外国語が韓国語の中に入ってきて国語として使われる言葉。特に、漢字語を除く他の言葉が韓国語として使われることを指す。借用語は外国語と違って、我々の文化の一部である。外来語。伝来語。」と見なされている。

<sup>3</sup> 子音: ㄱ=k, ㄴ=n, ㄷ=t, ㄹ=l, ㅁ=m, ㅂ=p, ㅅ=s, ㅆ=c, ㅈ=ch, ㅋ=kh, ㅌ=th, ㅍ=ph, ㅎ=h, ㅇ=kk, ㅊ=tt, ㅍ=pp, ㅍ=ss, ㅍ=cc, ㅇ=ng.

母音: ㅏ=a, ㅑ=ya, ㅓ=e, ㅕ=ye, ㅗ=o, ㅛ=yo, ㅜ=wu, ㅠ=yu, ㅡ=u, ㅣ=i, ㅗ=ay, ㅛ=yay, ㅕ=ey, ㅕ=yey, ㅓ=oy, ㅓ=wi, ㅓ=uy, ㅓ=wa, ㅓ=we, ㅓ=wey, ㅓ=way.

(A)字音借用

字音借用とは、中国語の字形を借りて朝鮮語の字音の体系により音形を与えることで、間接的に語彙借用を行う方法である。この方法は、朝鮮語における中国語からの借用語の中で一番よく利用されている。

(B)翻訳借用

翻訳借用とは、中国語の意義だけを借用し、その意義に基づき朝鮮語に翻訳することによって新語を創造する方法である。翻訳借用は語義借用、なぞり(calque)とも呼ばれる。

(C)音借(直接借用)

中国語を字音ではなく、中国語の発音によって朝鮮語に借用した語である。直接借用により借用される語は、日常的な口語としてよく使われる語である他、地名、民族名、特産物等の固有名詞が主である。

1.2. 金(2011)

金(2011)は、中国朝鮮語における語彙の借用について研究した論文である。本節では金(2011)をもとに中国語からの借用語と日本語からの借用語について用例を挙げながら内容をまとめる。

(A)中国語からの借用語

中国語からの借用語は、字音借用、翻訳借用、音借に分類される。

i)字音借用

中国朝鮮語において文語として用いられている借用語のほとんどは、この形式を取った語彙である。

中国語	延辺朝鮮語	韓国語	日本語訳
专业 / zhuān · yè	전업 / cen · ep	전공 / cen · kong	専攻

ii)翻訳借用

中国語	延辺朝鮮語	韓国語	日本語訳
黑帮 / hēi · bāng	검은무리 / kem · un · mwu · li	조폭 / co · p <sup>h</sup> ok	暴力団

iii)音借

音借による借用語は、使用頻度は高いが、一般的に口語で使われていて、文語としては使われない。

中国語	延辺朝鮮語	韓国語	日本語訳
护照 / hù · zhào	후조 / hwu · co	여권 / ye · kwen	パスポート

(B)日本語からの借用語

日本語からの借用語は、和製漢語からの字音借用、和語からの音借、および日本語における外来語からの音借に分類される。

i)和製漢語からの字音借用

日本語	延辺朝鮮語 / 韓国語	中国語
番号	번(番)호(号) / pen · ho	号码 / hào · mǎ

ii)和語からの音借

日本語	延辺朝鮮語	韓国語
たまねぎ	다마네기 / ta · ma · ney · ki	양파 / yang · p <sup>h</sup> a

iii)日本語における外来語からの音借

日本語	延辺朝鮮語	韓国語	原語
ラジオ	라지오 / la · ci · o	라디오 / la · ti · o	radio(英)

### 1. 3. 先行研究のまとめと問題提起

金(2011)は語彙借用の形式を、中国語からの借用語と日本語からの借用語に分類し、それぞれ例を挙げながら分析しているが、数量的な分析はしていない。したがって、金(2011)による語彙借用の分類を参考にし、数量的な分析をする余地があると考えられる。

借用語は、ジャンルによって使用頻度に差があると考えられる。

そこで本稿は、以下の2点について明らかにすることを目的とする。

i) 中国語からの借用語の使用傾向

ii) 日本語からの借用語の使用傾向

## 2. 調査

### 2. 1. 調査方法

調査では、新聞コラム・エッセイ・詩・短編小説を用いて手作業で語彙を調査し、延辺朝鮮語における借用語の使用率を考察する。固有語に対する借用語の割合を調べるため、固有語の出現数も調査しカウントした。名詞であるか否かの品詞の判別は辞典によるものとする。なお、調査の対象とするのは、名詞のみである。ただし以下のような名詞は調査の対象外とした。

i) 国名、地名、人名、書名、建造物のような固有名詞

ii) 副詞としても用いられ、品詞の判別が困難な名詞

지금[ci · kum] (今、今すぐ)、현재[hyen · cay] (現在)、어제[e · cey] (昨日)、等

参考資料はいずれも延辺出身の朝鮮族により書かれたもので、そこに観察された語彙を、劉・文（編）(2009)を用いて、借用語であるか判断する。劉・文（編）(2009)では、各見出し語に対して、漢字語である場合にはそれに対応する中国語が付されており、外来語である場合には「外来(외래 / oy · lay)」と記載されている。固有語である場合には何も付されていない。以下に表記例をあげる。

表記例:

- ・ 漢字語: 가구 [ka · kwu] (家具) 「家具」
- ・ 外来語: 가스 [ka · su] (外来) 「ガス」
- ・ 固有語: 가죽 [ka · cwuk] 「皮」

また、本調査では意味を持つ最小の単位を 1 単位として捉えて語彙を数える。たとえば、以下のような語彙はそれぞれ 2 語としてカウントする。

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| ・ 밤하늘 [pam・ha・nul] (夜空) | ・ 봄바람 [pom・pa・lam] (春風) |
| 밤[pam] + 하늘[ha・nul]     | 봄[pom] + 바람[palam]      |
| (夜) + (空)               | (春) + (風)               |

## 2.2. 調査結果

2.2.1.節ではジャンルごとにおける中国語からの借用語の使用傾向について、2.2.2. 節では日本語からの借用語の使用傾向についてまとめる。調査の対象にしたジャンルは、「新聞コラム<sup>4</sup>」、「エッセイ<sup>5</sup>」、「詩」、そして「短編小説<sup>6</sup>」である。なお、パーセンテージは全て少数第 2 位を四捨五入したもので、表中の「—」は出現回数「0 回」であることを示す。

### 2.2.1. 中国語からの借用語の使用傾向

以下の表 1 は、ジャンルごとにおける中国語からの借用語の平均使用率である。

表 1: ジャンルごとにおける中国語からの借用語の平均使用率(全体)

ジャンル	新聞コラム	エッセイ	詩	短編小説	全体
(中)字音借用	60.1%	41.0%	28.0%	34.2%	40.8%
(中)音借	—	0.1%	—	—	0.0% <sup>7</sup>
固有語	12.4%	51.7%	66.9%	61.3%	48.1%

新聞コラムにおける中国語からの借用語の使用率は、コラムのジャンルによって差<sup>8</sup>はあるものの、平均使用率が 60.1%で一番高い数値を示している。その理由として、文体がフォーマルで堅い語感を感じさせるものであることが挙げられる。

エッセイは日常生活での表現が多く使われるため、時代の流れによる表現の仕方に変化があるのではないかと筆者は考えた。そのため、20 世紀の作品と 21 世紀の作品をそれぞれ調査し比較することで使用傾向を分析することにした。しかし、使用率は 40.2%と 41.8%で、大きな変化は見られなかった。金(2011)で述べられている音借語は文語として使われないという主張に対し、わずかな使用率(0.1%)ではあるが、20 世紀の作品で音借された借用語(出現回数: 1 回、以下例(3)に示す)が使われていた。それは、本調査で唯一の「中国語から音借された借用語」である。

詩における借用語の使用率は 28.0%で、本調査で扱ったジャンルの中では一番低かった。

<sup>4</sup> 新聞コラムは、『延辺日報(2016.6.7～2016.7.26)』に載っている経済コラム 4 本、スポーツコラム 3 本、社会コラム 4 本を、調査の対象にした。

<sup>5</sup> エッセイは、20 世紀に書かれた 5 作と 21 世紀に書かれた 5 作、計 10 作を調査の対象にした。

<sup>6</sup> 短編小説は、1983 年の作品 1 本と 2016 年の作品 1 本を、調査の対象にした。

<sup>7</sup> 少数第 3 位を四捨五入したところ“0.03”となったので、ここでは“0.0%”と示す。

<sup>8</sup> それぞれ、経済コラムは 69.2%、スポーツコラムは 40.8%、社会コラムは 70.3%を占めている。

詩という分野は、自分の精神生活や自然、社会などにおいて感じたことや思ったことを、より馴染みのある固有語で表現する文学であるため、漢字のような固い表現ではなく、固有語を多く使うことで柔らかく表現するのではないかと考えられる。

調査対象にした短編小説は2本と少ないものの、2016年の作品における借用語の使用率は46.7%で、1983年の作品の21.6%に比べて25.1%増加したことが分かった。使用率が大きく増加した理由の一つとして、作品における話の背景が挙げられる。1983年の作品(以下作品1とする)の背景は家である反面、2016年の作品(作品2とする)の背景は、家、村、学校、都会などと様々である。主に家庭内で起きている出来事と家族同士の会話が多い作品1と比べて、作品2は家から村へ、村から学校へ、学校から都会へ、そして都会から村へと話の背景が豊富であることから、作品における話の背景と内容が借用語の使用における変化に影響を与えるのではないかと考えられる。

ジャンルによって主に使われている借用語彙はそれぞれ異なるが、出現頻度の高い借用語彙のほとんどは、延辺と韓国で同様に用いられる語彙であった。以下に挙げる例は、延辺朝鮮語における借用語彙で、韓国で使われている語彙とは異なる。なお、それらの語彙は囲み線で表す。

- (1) 고중-을 다니면서-부터・・・  
kocwung-ul tanimyense-put<sup>h</sup>e.  
高校-ACC 通いはじめる-から  
「高校に通いはじめてから・・・。」

例(1)の「高校」に対応する延辺朝鮮語は、中国語の「高中[gāo・zhōng]」を字音借用して「고중[ko・cwung]」となっており、韓国語の「고등학교[ko・tung・hak・kyo]」(高等学校)とは異なっている。韓国語の語彙は日本語を字音借用した借用語である。

- (2) 그런데 대학 식당-의 한족 쓰푸-들-은・・・  
kulenty tayhak siktang-uy hancok ssup<sup>h</sup>wu-tul-un.  
CONJ 大学 食堂-GEN 漢族<sup>9</sup> 先生-PL-は  
「しかし、大学食堂の漢民族の料理人たちは・・・。」

延辺朝鮮語表記	中国語表記	固有語表記	日本語
쓰푸[ssu・p <sup>h</sup> wu]	师傅[shī・fù]	스승[su・sung]	先生

中国語の「师傅[shī・fù]」は、モノ、知識のようないわゆる技術を教える人の尊称である。文中における「쓰푸[ssu・p<sup>h</sup>wu]」は、前に場所を表す「食堂」が来ることで「食堂で

<sup>9</sup> 漢族=漢民族。

技術を教える人」、いわば「料理人<sup>10</sup>」の意味として使われている。

## 2.2.2. 日本語からの借用語の使用傾向

以下の表2は、ジャンルごとにおける日本語からの借用語の平均使用率である。

表2: ジャンルごとにおける日本語からの借用語の平均使用率(全体)

ジャンル	新聞コラム	エッセイ	詩	短編小説	全体
(日)字音借用	16.9%	5.9%	4.2%	3.2%	7.6%
(日)和語音借	0.1%	0.1%	—	—	0.1%
(日)外来語音借	0.2%	0.1%	—	—	0.1%
固有語	12.4%	51.7%	66.9%	61.3%	48.1%

日本語からの借用語が一番多く使われているジャンルは新聞コラムで、平均使用率が17.2%と少なくない割合を占めていることが、調査を通じて明らかになった。特に、朝鮮語における経済用語の多くが日本語からの借用語であることが分かった。また、短編小説における使用率は、1.5%(作品1)から4.9%(作品2)と、3倍以上増加したことがわかった。その理由の一つとして1992年に結ばれた「中・韓修交」が挙げられる。それまで韓国との交流が少なかった延辺地域だったが、「中・韓修交」をきっかけに韓国の文字媒体の流入や直接的な交流(韓国人の中国訪問や朝鮮族の韓国への出稼ぎ)等が多くなってきて、外来語や新しい語彙を使い始めるようになったと考えられる。

以下に、日本語からの借用語の例を挙げる。

- (3) 전국 곳곳-에서 대학생 고 금리 대출-이 심각하다-는  
cenkwuk koskos-eyse tayhaksayng ko kumli tayc<sup>h</sup>wul-i simkakhata-nun  
全国 所々-で 大学生 高 金利 貸付-NOM 深刻だ-という .IMPF

기사-가 쏟아졌다.  
kisa-ka ssotacyessta.  
記事-NOM あふれる .PST

「全国のところどころで、大学生の高金利の貸付が深刻だという記事があふれた。」

例(3)の「대출[tay・c<sup>h</sup>wul]」は日本語の「貸出」を字音借用したものであるが、その使い方は日本語の「貸出」と多少異なる。日本語の「貸出」は主に本などを貸し出す際に用いられるが、延辺朝鮮語(韓国語も同様)における「대출[tay・c<sup>h</sup>wul]」(貸出)は日本語の「貸出」に「貸付」の意味も含まれている。延辺朝鮮語(韓国語も同様)では、この単語は、「貸出」

<sup>10</sup> 中国語表記は厨房の「厨」と師傅の「師」を合わせた「廚師 [chú・shī]」で、朝鮮語表記は「요리사」[yo・li・sa]である。

よりも「貸付<sup>11</sup>」の意味として多く使われている。「금리[kum・li]」(金利)に対応する中国語は「利息[li・xī]」で、「기사[ki・sa]」(記事)に対応する中国語は「消息[xiāo・xī]」である。

和語からの音借語は、社会コラムで「가방 [ka・pang]」(かばん)と「노가다 [no・ka・ta]」(土方)の2語と、20世紀のエッセイで「가마 [ka・ma] / 釜」(3回)が見られた。

- (4) 그것-은 전기 밥 가마 보다도 더 수요되는 필수품-이다.  
 kukes-un cenki pap kama potato te swuyotoynun p<sup>h</sup>ilswup<sup>h</sup>wum-ita.  
 DEM-は 電器 飯 釜 よりも もっと 必要-OPT.PASS 必需品.COP  
 「それは電気炊飯器よりももっと必要とされる必需品である。」

日本語の飯釜(炊飯器)にあたる韓国語は「밥솥[pap・soth]」であるのに対し、延辺朝鮮語は「밥가마[pap・ka・ma]」である。韓国語の語彙は固有語である「밥[pap]」(飯)と同じく固有語である「솥[soth]」(釜)を合わせたもので、延辺朝鮮語の語彙は固有語の「밥[pap]」(飯)と日本語の「가마[ka・ma]」(釜)を合わせたものである。

日本語における外来語からの音借語は、新聞コラムで4語とエッセイで2語見られた。以下にそれぞれの語彙をあげる。

- |   |                       |                        |
|---|-----------------------|------------------------|
| ①인프라(2回) [in・p <sup>h</sup> u・la]                               | 「インフラ」                | 原語: infrastructure(英語) |
| ②초콜렛 [c <sup>h</sup> yo・k <sup>h</sup> ol・ley・t <sup>h</sup> u] | 「チョコレート」              | 原語: chocolate(英語)      |
| ③비닐 [pi・nil]  | 「ビニール <sup>12</sup> 」 | 原語: vinyl(英語)          |
| ④에너지 [ey・ney・lu・ki]   | 「エネルギー」               | 原語: energie(ドイツ語)      |
| ⑤아파트 [a・ppa・t <sup>h</sup> u]                                   | 「アパート」                | 原語: apartment(英語)      |

①「인프라[in・p<sup>h</sup>u・la]」は、日本語の外来語が韓国語に入ってきた語彙で、それが延辺朝鮮語に入ってきたため、延辺朝鮮語でも韓国語と同じく表記する。このようなことから、「인프라[in・p<sup>h</sup>u・la]」は、日本語の外来語からの音借語ではあるが、直接的な関係は持たないと思われる。②の「초콜렛[c<sup>h</sup>yo・k<sup>h</sup>ol・ley・t<sup>h</sup>u]」は日本語の発音に似ていて、韓国語の「초콜릿[c<sup>h</sup>o・k<sup>h</sup>ol・lis]」とは異なる。③의비닐 [pi・nil](ビニール)は、延辺朝鮮語と韓国語において同様に用いられる。④의에너지 [ey・ney・lu・ki] (エネルギー) に対応する韓国語は「에너지[ey・ne・ci]」である。エネルギーの原語はドイツ語の“energie”で、英語は“energy”であることから、韓国語の語彙は英語を音借したものであることがわかる。⑤의아파트[a・ppa・t<sup>h</sup>u]は、日本語の外来語からの音借語ではあるが、日本とは違う意味で使われている。日本の「アパート」は一般的に2階までの建物をさすが、延

<sup>11</sup> 日本語の「貸付」に対応する韓国語(延辺朝鮮語も同様)は「대부[tay・pu]」で、日本語からの字音借用語である。

<sup>12</sup> ビニールは英語の“vinyl”からはいつてきたが、英語における“vinyl”は化学用語として使われ、発音は「ヴァイヌル」で、日本語の意味と異なる。

辺での「アパート」はエレベーター付きの高層建築を指す。韓国でも同じく高層建築を指している。ただし韓国語の場合「아파트[a・p<sup>h</sup>a・t<sup>h</sup>u]」と書く。つまり、延辺朝鮮語の語彙と韓国語の語彙は、表記は異なるが表している意味が同じであることから、「아파트[a・ppa・t<sup>h</sup>u]」は日本語からの借用語ではあるが、韓国の影響を受けて、韓国で使われている意味で使われはじめたのではないかと考えられる。

### 3. まとめ

本稿では、延辺朝鮮語における借用語の使用率をジャンルごとに分析し、使用傾向に注目して考察した。

中国語からの借用語の使用率はジャンル全体の 40.8%を占め、借用語のなかで圧倒的な割合を占めている。これは固有語の 48.1%の使用率に次ぐ数値である。このように中国語からの借用語が多く使用されている要因の 1 つとして、宮下(2007)が述べている「中国語からの日常的な圧迫による影響」が挙げられる。つまり、中国語からの日常的な圧迫による影響は中国語からの借用語の増加につながり、中国語からの借用語が増加した場合、固有語が減少する傾向があると筆者は考える。

日本語からの借用語に関して見られた時代の変化は、1992 年に結ばれた「中・韓修交」と関係があると考えられる。日本語からの借用語は以前から存在したものの、韓国から入ってきた新しい語彙の中には日本語からの借用語も少なくない。つまり、全てではないが、多くの日本語からの借用語は韓国を経由して入った語彙で、日本とは直接的な関係を持たないと考えられる。

#### 略号一覧

ACC: 対格 / COP: コピュラ / CONJ: 接続詞 / DEM: 指示詞 / GEN: 属格 / IMPF: 未完了 / NOM: 主格 / OPT: 願望 / PASS: 受身 / PL: 複数 / PST: 過去

#### 参考文献

- 【日本語の文献】宮下尚子 (2007) 『言語接触と中国朝鮮語の成立』福岡: 九州大学出版会。  
【外国語の文献】金美月 (2011) 『中国朝鮮語における語彙の借用に対する研究 (修士論文)』(『중국조선어의 어휘 차용에 대한 연구』) 全羅南道: 全南大学。  
【調査資料】鄭判龍等 (1999) 『20 世紀中国朝鮮族文学選集 (随筆報告文学選集)』延吉: 延辺人民出版社。  
/ 延辺教育出版社朝鮮語文編輯室 (編) (2015) 『自習読本 愛と自由』延吉: 延辺教育出版社。/ \_\_\_\_\_ (2016a) 『朝鮮語文 (必修 2)』延吉: 延辺教育出版社。/ \_\_\_\_\_ (2016b) 『朝鮮語文 9 学年・上』延吉: 延辺教育出版社。  
【インターネット資料】延辺日報 [http://iybrb.com/bao\\_lis.aspx](http://iybrb.com/bao_lis.aspx) (最終アクセス: 2016/11/29)。

#### 辞書

- 劉銀鐘・文昌徳 (編) (2009) 『最新朝鮮語辞典 (최신 우리말 사전)』延吉: 延辺教育出版社。/  
新村出 (編) (2008) 『広辞苑 第 6 版』東京: 岩波書店。/ 高麗大学民族文化研究院国語辞典編集室 (編) (2009) 『高麗大学韓国語大辞典』ソウル: 高麗大学民族文化研究院。